

## 医療福祉建築賞 2019 募集要項

主催 一般社団法人日本医療福祉建築協会  
後援 厚生労働省

一般社団法人日本医療福祉建築協会では、1991年に厚生省（当時）の後援を得て「病院建築賞」を創設し、1995年より名称を「医療福祉建築賞」と改め、医療福祉建築の顕彰事業を実施しております。

賞は、近年竣工した医療・福祉施設及び保健施設のうち、応募のあったものの中から選ぶこととなります。下記の要項に沿って、ふるってご応募くださるようご案内致します。

### 1. 趣旨

医療福祉建築賞は優れた医療福祉建築を顕彰し、それを広く世に知らせることによって、これら施設の質の向上をはかることを目的として定めるものである。

優れた医療福祉建築とは、建築として質が高いことに加えて、利用者ならびに職員にとって快適で使い勝手がよいことを条件とする。すなわち中身と器が調和し、いずれにおいても優れていることを意味するものとする。

### 2. 顕彰

「医療福祉建築賞」若干点に対して、賞状・賞牌・銘板が贈られる。また、企画、特定の部門計画、工事技術などが特に優れている応募案があった際には、選考委員会でその内容を検討し若干点に対して「医療福祉建築賞 準賞」として、賞状・賞牌が贈られる。

### 3. 対象

顕彰の対象となる施設は、2015年（平成27年）4月1日から2018年（平成30年）3月31日までの3年間に日本国内において新築、増改築または改修を行なった医療・福祉・保健施設ならびにその関連施設とする。

なお、上記条件に合致する限りにおいて、前回に応募し選外となった作品の応募もさしつかえない。

### 4. 応募資格

応募者は、当該施設の開設者または管理者、設計者のどちらでもよい。ただし、選考委員または委員の所属する組織が計画・設計・運営に関与している施設は応募できない（当該施設は委員の任期終了後に応募することができる）。

### 5. 選考のための提出資料

- (1) 所定の応募申込書ならびに建築概要書
  - (2) 設計主旨
  - (3) 図面 配置図・平面図・断面図など、大きさはA3判。
  - (4) 写真 15葉程度とし、周辺環境がわかるものを含むこと。また、室内については家具・機器等が設置されていること。大きさは任意。
- 上記 (1)～(4) をA3判クリアファイル1冊におさめて提

出のこと。なお、それらをPDF化しCD等に収めたデータも同時に提出のこと。ただし、本会誌『医療福祉建築』に作品全体が紹介されたものについては、(2)～(4)の一部について当該誌の提出をもってこれに替えることができる。この場合でも『医療福祉建築』に掲載分も含めてデータを提出のこと。

### 6. 応募期日

2019年8月19日から同年8月30日まで。当日消印有効。

### 7. 提出先

一般社団法人 日本医療福祉建築協会  
住所 〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建築会館  
電話 03-3453-9904 FAX 03-3453-7573

### 8. 応募料

応募者は1作品につき64,800円（税込）を応募料として応募時に納入する。

### 9. 選考

選考は、以下の委員で構成される選考委員会によって「趣旨」に沿った判断にもとづいて行なう。なお、選考過程で必要に応じて現地調査を行なう。また、必要に応じて特別委員をおくことができる。

委員長 石井 敏（東北工業大学 工学部 教授）  
委員 大野 秀敏（㈱アプルデザインワークショップ 代表取締役所長）  
委員 川崎つま子（東京医科歯科大学医学部附属病院 看護部長）  
委員 小林 健一（国立保健医療科学院 医療・福祉サービス 研究部 首席主任研究官）  
委員 渋谷 明隆（北里大学 医学部医療安全・管理学 教授）  
委員 角 晴輝（㈱竹中工務店 医療福祉・教育専門役）  
委員 山崎 敏（トシ・ヤマサキまちづくり総合研究所 代表）

### 10. 公表

選考の結果は2020年3月末日までに応募者に通知するとともに、別途本会誌に公表する。

### 11. 提出資料の取扱い

応募のために提出した資料は返却する。また、本協会がこの事業の趣旨に則して提出資料を会誌に掲載、さらに図書の出版、または展示などのために用いる場合、受賞者は無償でその使用を認めることとする。なお、その際写真撮影者の記載を必要とする場合は、あらかじめ応募の際に明記する。

応募書類はwebでダウンロードできます。 <https://www.jiha.jp>

※本賞に関するお問合せはメールにてお受けします。 E-mail:office@jiha.jp

## 医療福祉建築フォーラム 2019 開催案内

本協会では毎年、医療福祉建築に関する研究・計画・設計者と他分野の方々が、ともに学び、考える場として、医療福祉建築フォーラムを2日にわたり開催しています。

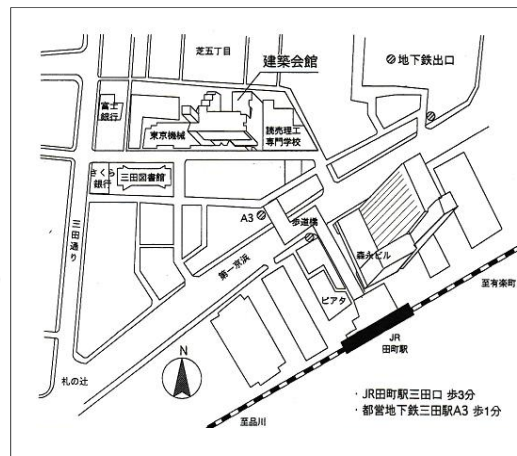
本年度は、病院建築の歴史的な変化を振り返りつつ、来年に迫るオリンピック・パラリンピック関連施設のユニバーサルデザインを学び、認知症当事者や地域住民の視点を採り入れた施設づくりについて考え、将来の医療福祉建築像を展望する講演を企画しております。

皆様お誘い合わせの上、ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

### 記

- 会 期 2019年9月19日(木)・20日(金)  
 会 場 建築会館ホール (東京都港区芝 5-26-20)  
 主 催 一般社団法人 日本医療福祉建築協会  
 定 員 140名 (定員になり次第しめきります)  
 参加費 一般: 37,800円 JIHA 会員・会友: 21,600円(税込)  
 申し込み

- 1) 参加申込書にご記入の上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込みください。(web でもお申し込みできます)
- 2) 申込み順に、参加費を記載した受付票を返信致します。
- 3) 受付票が届き次第、参加費をご確認の上、指定口座にお振り込み下さい。
- 4) 入金が確認され次第、領収書と参加証をお送りします。



※申込み後、3営業日を過ぎても受付票が届かない場合は、事務局までお問合せください。

日本医療福祉建築協会事務局 〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建築会館  
 TEL: (03)3453-9904 FAX: (03)3453-7573 E-MAIL: office@jiha.jp

## 医療福祉建築フォーラム参加申込書

日付: 2019年 月 日

一般・JIHa 会員・会友 (○を付して下さい)

法人名			
所在地	〒		
担当者		部署	
TEL		FAX	

参加者名	参加者名

日本医療福祉建築協会 行 FAX (03) 3453-7573

## 医療福祉建築フォーラム 2019 プログラム

第1日 9月19日(木) 9:00 開場

9:30-9:35	<b>会長あいさつ</b> 中山茂樹 (一般社団法人 日本医療福祉建築協会 会長)
9:35-10:35	<b>講演： これからの患者の療養環境(仮)</b> 「大学教育プログラムで生まれる、自由な発想で提案される未来の療養環境とは」 古谷誠章 (早稲田大学 創造理工学部 教授)
10:45-12:00	<b>対談： 地域と関わるこれからの医療・看護像</b> 「地域で活躍するナースの活動を聞き、病院や施設のナース、保健師との違いについて考える」 石井麗子 (一般社団法人プラスケア 専従看護師) 進行：横井郁子 (東邦大学 看護学部 教授)
12:00-13:00	昼食休憩
13:00-14:15	<b>講演： 日本の近代病院建築の系譜</b> 「明治維新頃から1940年ごろまでの病院建築における形式と内容について」 尹世遠 (鹿島建設 医療福祉推進部)
14:30-16:30	<b>シンポジウム： 2020年のオリンピック/パラリンピックに向けたユニバーサルデザイン</b> メインスタジアム：川野久雄 (大成建設 設計本部 特定プロジェクト部 部長) スポーツ・エンターテインメント施設におけるUD・災害対応： 永廣正邦 (梓設計 常務執行役員 スポーツ・エンタードメイン長) まちづくり： 野島秀敏 (三井不動産レジデンシャル 東京オリンピック・パラリンピック選手村事業部 部長) 司会・総論：高橋儀平 (東洋大学 名誉教授)

第2日 9月20日(金) 9:00 開場

9:30-10:30	<b>講演： 平成30年自然災害による病院の被害状況と事業継続に関する調査研究(2018年度課題研究報告)</b> 北海道胆振東部地震による病院被害：石橋達勇 (北海学園大学 工学部 建築学科 教授) 大阪府北部地震、平成30年7月豪雨による病院被害：宇田淳 (滋慶医療科学大学院大学 医療管理学研究科 教授) 豪雨・水害に対する病院設備の備え：鈴木明文 (長大 社会事業本部まちづくり事業部 技術顧問) 進行：小林健一 (国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部 上席主任研究官)
10:40-11:40	<b>講演： 認知症とともに生きる</b> 「トップセールスマンとして活躍していた丹野氏。39歳で認知症と診断される。認知症の当事者からみたまちづくりとは」 丹野智文 (おれんじドア 代表) 進行：石井敏 (東北工業大学 工学部 建築学科 教授)
11:40-12:40	昼食休憩

12:40-13:40	<p><b>対談： 事業者と設計者の協働・久野病院</b></p> <p>「療養型病院と言うこれまで例のない建築タイプについて、どのように形を作り上げていったのか。医療福祉建築賞 2017 受賞作品について聞く。」</p> <p>久野英樹（医療法人社団 薫英の会 久野病院 理事長・院長） 桑原悠樹（竹中工務店 大阪本店）</p>
13:50-16:30 (途中 10 分休憩)	<p><b>シンポジウム： 住民参加型の施設づくり</b></p> <p>ボランティアによる常滑市民病院の設計・運営：久米淳子 (常滑市民病院 看護局長)</p> <p>リアスホールの経験から福祉施設への展開：内藤将俊 (内藤将俊建築設計事務所 代表取締役)</p> <p>太田市美術館・図書館について：氏原茂将（プランナー／コンサルタント） 福井市至民中学校について：牧田秀昭（福井市安居中学校 校長） 司会：岡本和彦（東洋大学 理工学部 建築学科 准教授）</p>

(公社) 日本医業経営コンサルタント協会「医業経営コンサルタント」継続研修：11.0時間(予定)  
建築CPD(継続能力/職能開発) 情報提供制度認定プログラム(予定)

\*敬称略、タイトル・講師は変更されることがあります

## 岩手医科大学附属病院 見学会 開催案内【再掲】

8月の月例行事は、9月に開院予定の標記病院を見学させていただきます。参加ご希望の方は、下記の申し込み方法の通りお申し込み下さい。※オープン前の見学会の為、一部養生がされている場合がございます。また家具、設備機器等についても未設置の場合がございますので、その点ご了承の上、お申し込みください。

### 記

岩手医科大学附属病院 <https://www.iwate-med.ac.jp/medical/new-2/>

- 日 時 2019年8月19日(月) 13:00-16:00
- 所在地 岩手県紫波郡矢巾町大字藤沢第1地割 他
- 設計・監理 日建設計・清水建設 設計監理共同企業体
- データ 1,000床/地上11階/S造(基礎免震構造)/延約86,000㎡/2019年6月竣工
- 特徴 本病院は、岩手医科大学創立120周年記念事業の一環として進められてきた総合移転整備計画の最終プロジェクトとして盛岡中心部から移転新築した高度治療・入院機能を持つ1000床の特定機能病院である。最先端の医療に対応した診療・教育を行う場としての機能強化のために、永続的により良い療養環境を実現する病院、地域の気候・風土に適合した環境性能を具現化する病院、常に急性期・高度医療に対応できる病院の3つの柱を軸に、「世界に冠たる病院」を目指した。既存キャンパスを含めた施設群として統一感のあるデザインとし、地域と一体となった街並みを創出するとともに、職員のための敷地内保育施設や地域住民にも開放されたアメニティ施設が同時に整備された。
- 交通 東北本線「矢幅」駅より タクシー約10分
- 定員 50名 (JIHa 会員・会友に限る)
- 参加費 3,240円 (税込)

写真撮影：①見学会開始前の撮影 ②施設利用者の撮影 ③フラッシュの使用 は禁止となります

(公社)日本医業経営コンサルタント協会「医業経営コンサルタント」継続研修：3.0時間(予定)  
建築CPD(継続能力/職能開発)情報提供制度認定プログラム(予定)

### ⌘ 申込方法

- 1) 申込方法：原則としてE-mailに限ります。
- 3) 記入事項：件名「岩手医科大学附属病院 見学会参加申込み」  
①参加者名(法人会員は複数並記可)、②勤務先・部署、③電話番号、④E-mailアドレス、⑤〒・住所(返信先)を記載のこと。
- 4) 申込人数：法人会員の申込人数の制限は致しませんが、個人会員は本人のみとし、代理出席はできません。
- 5) 申込の確認：お申し込みいただいたものについて、メールで返信致します。返信のない場合はE-mail等にてお問い合わせください。
- 6) 定員に達し次第、受付を終了とし、ホームページにてその旨ご報告します。

日本医療福祉建築協会事務局 E-mail: [office@jiha.jp](mailto:office@jiha.jp)

## 海外医療福祉建築視察団2019

本年度の海外視察は、米国の救急医療施設とハワイの医療施設を中心に視察します。

近年、日本の救急医療分野で注目を集めている「北米型救急医療モデル（ER型救急）」を学ぶため、ミネソタ大学病院救急医学部・准教授の日比野誠恵先生による現地での講演会と同大学病院救急部およびミネアポリス周辺の救急医療施設の視察を企画しています。これからの日本の救急医療施設を考えるための貴重な機会になると考えています。

ホノルルでは、医療施設の運営に造詣の深いアンディニノ宮氏による講演会とホノルルの一般病院、小児専門病院、精神科病院、CCRC等の視察を企画しています。また、サンディエゴにあるルイスカーン設計のソーク研究所、ミネアポリスの都市・建築の視察も予定しています。

皆様のご参加をお待ちしております。

- 日 程 : 2020年1月13日（月・祝）～1月24日（金）の12日間
- 訪問国（予定） : 米国（ミネアポリス、サンディエゴ、ホノルル）
- コーディネーター : 竹宮健司（JIHa理事・首都大学東京教授）
- 経費（概算） : 20名の場合、約70万円
- 募集定員 : 20名  
\*視察先の受入人数制限により、募集定員の変更はございません。
  
- 申込期間（予定） : 2019年8月下旬 ～ 2019年9月30日（月）
- 参加申込方法 : 件名に「海外視察希望」と入力頂き、①参加者名、②所属、③連絡先を記載の上、E-mail (office@jiha.jp) にてお申込み下さい。
- 参加決定方法 : ご参加申込みが募集定員20名を超えた場合、JIHaの会員の方を優先として、幅広く希望者さまにご参加いただける様、当協会内にて選考の上、決定致します。
- 視察予定先 :
  - ミネアポリス
    - University of Minnesota Medical Center West Bank Hospital
    - University of Minnesota Medical Center East Bank Hospital
    - University of Minnesota Masonic Children's Hospital
    - University of Minnesota Health Clinics and Surgery Center
    - Hennepin County Medical Center
    - Fairview Southdale Hospital
  - サンディエゴ
    - Salk Institute for Biological Studies
    - UCSD Geisel Library
  - ホノルル
    - Kahala-Nui Life Care Center
    - Pali Momi Medical Center/Women's Center
    - Rehabilitation Hospital of the Pacific
    - University of Hawaii School of Medicine
    - Kapiolani Medical Center for Women and Children
    - Queen's Medical Center-West
    - Sutter Health Kahi Mohala Behavioral Health Center
    - Ka Makana Alii Urgent Care Center



**④ Rancho Los Amigos National Rehab. Center**

年間約4,000人の入院患者と8万人の外来患者を治療する国内最大のリハビリテーションセンター。

脳、神経学、整形外科、小児科、脊椎損傷および脳卒中のリハビリテーションを専門としている。

規模：395床

設計：Smith Group JJR, Taylor Design

面積：850,000F2 (79,000 m<sup>2</sup>)

竣工：2018年

**⑤ UCLA Outpatient Surgery and Oncology Center**

外来手術及び腫瘍治療、診療所の複合施設。より自然で臨床的でない環境デザインが患者の癒しを促進し、医師やスタッフ、学生のパフォーマンスを促す。

規模：24床、手術室8室

面積：132,387 F2 (12,300 m<sup>2</sup>)

総費用：12億7000万ドル

設計：Michael W. Folonis Architects (MWFA)

竣工：2011年

**<備考>**

※1：「2019米国医療施設調査団」

2019年3月14日（木）～22日（金）

コーディネーター：辻 吉隆（(株)竹中工務店 医療福祉・教育本部 主監）

団長：佐藤 基一（(株)久米設計 常務執行役員 業務本部 副本部長）

団員：40名

※2：「マッシュアップスタジオ」

[http://www.central-uni.co.jp/wp-content/uploads/2014/07/mashup\\_access.pdf](http://www.central-uni.co.jp/wp-content/uploads/2014/07/mashup_access.pdf)

東京都文京区湯島2-21-25 SKYビル

TEL 0120-937-732 E-mail mashupstudio@central-uni.co.jp

(株)セントラルユニ（担当：武久 敏）



### 寄贈書籍紹介

協会へ寄贈された書籍をご紹介します。

・医療の場を整える環境デザイン

内 容：環境が人を元気にする！

看護師から一級建築士へ転身した著者が実現した「こんなことできるんだ！」  
医療施設の新築・改築・改装のアイデアを100点以上のカラー写真で紹介しま  
す。

著 者：戸倉蓉子

発 行：日本看護協会出版会

頁 数：120 頁